

平成28年度 鳥取大学第5回経営協議会 議事要旨

日 時 平成29年1月17日(火) 15:00 ~ 16:27
場 所 鳥取大学事務局棟 第一会議室
出席者 高橋委員、永井委員、長谷川委員、松本委員、宮崎委員、吉岡委員、
豊島委員、中島委員、田中委員、細井委員、北野委員、法橋委員
陪席者 田中監事、香川副学長、古塚副学長、矢部副学長、松見副学長、
山口副学長、藤井地域学部長、河田工学研究科長、田村農学部長

議 題

議題に先立ち、前回議事要旨の確認があり、承認された。

1. 第3期中期目標・中期計画の変更(案)

資料1に基づき第3期中期目標・中期計画の変更(案)について、持続性社会創生科学研究科の設置、大山共同研修所の売却、農学部附属フィールドサイエンスセンター蒜山の森の土地交換に伴う変更であることについて説明があり、審議の結果承認された。

— 委員からの主な発言 —

◇ 研究科は修士課程のみであるかと質問があり、学年進行に合わせて博士課程の整備も予定しているとの回答があった。

2. 平成29年度学内予算編成方針(案)及び平成29年度運営費交付金予定額の概要

資料2参考資料に基づき文部科学省から示された平成29年度国立大学法人運営費交付金等予定額及び本学の運営費交付金予定額の概要等について説明があったのち、平成29年度学内予算編成方針(案)について、予算編成における基本的な考え方、収入予算の編成、支出予算の編成等の概要説明があり、審議の結果承認された。

— 委員からの主な発言 —

◇ 外国人教員の招聘の予定について質問があり、これまでは乾燥地研究の第一人者を国際機関から招聘していたが、これからは教育にも見識のある方の招聘を検討していくとの回答があった。

3. 平成28年度運営費交付金業務達成基準の適用

資料3に基づき平成28年度運営費交付金業務達成基準適用申請事業5件について、事業実施計画等にかかる説明があり、審議の結果承認された。

1. 連合農学研究科改組計画について

資料4に基づき連合農学研究科改組計画について、平成30年度を予定として進めていること、改組の趣旨及び必要性、改組後の教育の特色等について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 鳥取大学の大学院の充足率の増減について質問があり、工学研究科では増えているとの回答があった。
- ◇ 鳥取大学の研究科改組が受験生に対してどれだけ関心を持たれるだろうかと質問があり、在学生に対して魅力があるものになるよう考えているとの回答があった。
- ◇ 学部卒でも専門的な知識を持って卒業してほしい。
- ◇ 通常の学問に加えて、COC+で取り組まれているような社会人基礎力を学んでいくことが大切だと思う。

2. その他

(1) 文部科学省の研究拠点形成費等補助金の使用に関する調査結果について

資料5に基づき、不正使用調査委員会が行った文部科学省研究拠点形成費等補助金の不適切使用に係る調査結果の概要説明と、本調査結果を12月26日に文部科学省に報告したことについて報告があった。

(2) 人事院勧告対応関係について

人事院勧告対応について説明があり、前回の経営協議会において本学の対応方針として「国家公務員の給与改定に準じ、本学職員の給与の支給水準を改定する」旨を承認いただいたが、今回の経営協議会で改正案を提示できないため、役員会で承認された改正規則を次回の経営協議会で報告することとしたいとの提案があり、了承された。

(3) 平成28年度補正「地域科学技術実証拠点整備事業」採択について

机上配布資料に基づき、鳥取県と本学の共同申請が平成28年度補正「地域科学技術実証拠点整備事業」に採択され、米子地区に「とっとり発医療イノベーション（創薬）産学官連携研究開発実証拠点」の整備を実施していくことについて報告があった。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 用地について質問があり、職員用駐車場を一部減らして対応するとの回答があった。

また、資料6に基づき「最近の地域貢献の取り組み」について情報提供があった。

最後に、次回の経営協議会は3月21日（火）に開催予定としている旨、発言があった。